

わたしが
発信

その人らしく幸せを感じて生きていく。当たり前のことのようにも、女性や子どもなど、立場が弱い人たちだと、なかなか実現できていないのが現状だ。今回から、女性や子どもたちが健康で幸せに生きていくための啓発や支援に取り組むNPO法人「ハッピーウーマンプロジェクト」に、活動が始まったいきさつや目指す社会の姿を発信してもらう。

二〇〇六年五月、ハッピーウーマンプロジェクトはNPO法人として活動をスタートさせた。女性と子どもが健康で安心して暮らせる、偏見や暴力のない社会をつくることを目的に「啓発」と「支援」の二本柱で事業を展開している。
私は二〇〇二年の夏、卵巣嚢腫（のうしゅ）と診断され、手術を受けることになった。入院してみると、病気の不安と痛みに耐え切れない入院患者が、夜間にナースコー

① ハッピーウーマンプロジェクト



勉強会の後の記念写真。和気あいで活動に取り組む「富山市内」

元気にハッピーに暮らしたい

ルを鳴らし続けていた。ていたが、人手が少なう看護師たちは懸命に働いている。なる夜間では十分に対応

しきれず、患者と看護師のトラブルを何度も目にした。退院後、私はお世話になった女性医師に手紙を書き、入院病棟では患者は昼夜逆転の生活にな

た。話合いで、おのが自分の医療経験を語り、傷ついたこと、うれしかったことを共感しあった。泣いたり笑ったりしながら大いに盛り上がり、メンバーは口コミで広がり、あっという間に三十人ほどの集まりとなった。その後、月一回定期的に女性が抱える身体

っていること、看護師は夜勤でクタクタになっていること、この悪循環から抜け出すためには、趣味の教室など昼間のプログラムや患者同士が気持ちを持ち語り合う場が必要

仲間とともに学び、語り、共感しあうことが私たちを元気にさせた。この活動を広め、もっと多くの人たちとともに「元気に、そしてハッピーに暮らしたい」と願い、NPO法人化した。

〈団体情報〉

団体名/NPO法人ハッピーウーマンプロジェクト
主な活動/女性と子どもたちが、より健康にその人らしく幸せを感じて生きられるような社会を目指し、専門的な知識を学ぶ勉強会を開く啓発活動と、グループカウンセリングなどの支援活動に取り組んでいる。
住所/富山市安住町5の21 県総合福祉会館サンシップとやま内
会員数/60人
連絡先/e-mail:info@happy-woman-project.net
電話番号/090(2838)1341
ホームページ/http://www.happy-woman-project.net/

〇六年七月、念願のクリニックは富山市根塚にオープンし、医師はそこで女性医療の充実に向け、日々まい進している。

(ハッピーウーマンプロジェクト) 副理事長・中林晶子